NIE実践報告

1．タイトル：☆環境新聞を作ろう

2．学校名

長野県松川村立松川中学校

3．実践者名（代表者名）

柿沼　佑樹(黒岩理恵子)

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　33人

6．単元（本時の学習課題）名

地域の環境問題に迫る(総合的な学習)

7．目標（狙い）

新聞記事から環境問題に関心を持ち、自分たちの課題を見つけ、調査取材活動を通して地域の環境問題にも目を向け、自らの問題として解決に向けて取り組もうとする。

8．評価の視点

新聞記事から課題を見つけて身近な問題としてとらえ、地域の取材活動を通して環境新聞を作ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「環境新聞を作ろう」[総合的な学習の時間:17時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)「環境」に関する記事を探してスクラップし、キーワードを挙げて、環境についての「追究の柱」を決定する。
(2)「追究の柱」ごとに追究班を編成し、地域に目を向けた追究計画を決定する。
(3)追究活動(調査・取材活動)をする。
(4)追究活動で得た情報をまとめて新聞を作成する。
(留意点)
・取材相手に失礼のないように、電話の応対の仕方や言葉遣い、取材中の態度に気をつけるように支援する。
・仕事のない生徒がいないように、あらゆる活動で分担を決める。
・新聞を参考にし、見出しやレタリングを工夫させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞スクラップに感想記入する際には、自分の意見を持ち、最後の行までしっかりと埋めようというこだわりを持って活動に取り組む生徒が見られた。また新聞制作の際には一つの新聞記事や模造紙を囲み、皆で意見を述べ合う姿が多くみられた。

12．成果と課題

生徒たち自身の目で、耳で現在の社会事象を確認することができたのは大きな収穫であった。またグループで同じ新聞を制作することから、お互いのコミュニケーション力も高めることができると実感した。